

## 第2期岸和田市教育大綱（素案）に係るご意見一覧

パブリックコメント平成31年1月4日～2月4日

No.	ご意見
1	命を守り自他の人権を尊重し、教育環境を整え、教育を受けられるようする教育委員会と実際に動く教師の役割と取り組み
2	虐待から子供を守る教育環境を作る 幼稚園保育所から 障害児を育てる親は自分の子供は他の子と少しちがう、どう対応すれば良いかわからない 入所した園や所の職員全員で受けとめ 研修並びに相談会で親の本音を受け止め
3	まずその為には、障害を知る対応が 方法としては 特別支援学校教諭の単位認定されている講習 発達障害自閉症の講義を受講 それからこの子供が通うことになるだろう小学校・中学校の教師に受講を進める
4	手を出しそうになったがガマンした時親をほめる この時手を出すと後の虐待につながる可能性が大に 親も子も傷ついてしまう
1	幼小中職員の受講を学校全体で義務づける 全部は無理でも、すくなくとも、自分の学校にいる障害児に関する講義については受講を義務化する 尚対応の細やかな点については、大阪府教育センターの先生に来て頂き、質問し、問題は、対応の具体化を実現する。 親が、子供に対する困りごとを親の対応仕方をアドバイスできる教師になれれば親が子供を虐待はなくなるのでは、 親の苦しみを責めるだけでなく一緒に考えましょうというスタンスに立って理解、考えましょうという親の側からの視線や今だけを考えるのではなく将来どんな未来があるのか、親がどんな子供になってほしいのか夢を語るという子供に無理じいをするのではなくて具体的どうしてあげたら良いのかを考え、そうすることによって何を一生けんめいするか、あるいは得意なことは、子供の一面だけでなく多面的に見ることができたら、子供も自信がつくし親も子供の見方が変わるのでと思います。
5	二、いじめに対する対応 小学生ぐらいになると、障害児の反応がおもしろくついからかい。その反応をためそうとする 障害児はそれをいやがり、教室以外の場所へ逃げようとする。姿が見えなくなると、学校全体で、さがすが この対応としては、「支援学級の存在が一時ひ難場所となる。この時の指導として、学校外に出たら危険ですとして保護者に近所にいないかどうか見てもらう 最近では門に施錠している所が多いので他の生徒に対しては、障害児が、そうなるには、病気のせいもあるので、からかうのをやめると話す。 この障害児の担任は、この障害児から目をはなせないので、是非ここは副担任をつけて頂けたら担任が同意すれば

6

三、中学校不登校の生徒に対する対応 小学校は給食があるが中学校ではない。ここからは、自分の体験から朝ホームルームにいない生徒の確認生活保護家庭、母一人子一人 母は近くのスーパーで働いている。子一人は自分で起きれず、我が家に行ってドアをドンドンとたたく音で起こしもちろん朝ごはん食べてない。「弁当あるん」と聞くとないと答える。学校へ行くまでにある。パン屋へ寄って昼用のパンを買う。飲み物なし昼までおなかへるだろうと思うが しかたないがまんさせる

この子もからかわれる一人。

他の生徒に言わせると風呂入ってないからくさいねん 風呂なぜ入っていないのか聞くと、電気つけへんようになって入られへん」首のしわにアカがたまり、所々黒くなっている。教室では女子がとなりの席をいやがり、これは一度、母に合わなければと、あいに行くが、母親も言っているという返事。本人が言う事聞かない

7

この生徒にも支援が必要であった。

まずは子供の言う風呂場の電機を大屋さんに、頼んで変えてもらうように市役所からその地域担当の方に言って頂き、そこから大屋さんに言ってもらいました。夏の水泳教室には、男子体育担当の先生が、水着をもってきててくれ、それをはいて受けました。

私の気がつかないことをカバーしてくれたことにありがたかったです。小学校の時は不登校だったと聞きました。

どんな生徒であれ、学校全体保育所園全職員が見守り、対応するというしせいが大切その環境の中ですこやかに成長すると、担任だけの対応ではなく、いかんなくチームワークを発揮できる体制の構築を校長教頭を中心となりシステム化された居ごこちのいい働きがいのある学校になれば最高ですね。

こんな学校につとめたいですね。

基本方針 1について、保育と教育の違いが議論されないまま、一貫教育やこども園化を進める理由がわかりません。保育所、幼稚園は先生や保護者が時間をかけて作り上げてきた制度で、ようやく 3 歳児保育の実現が開始されたところでした。効率化優先、制度いじり、もうけありきで考えられるものではないはずです。民営化の話も出ていますが保育や教育はもうけの対象ではないはずです。企業は最初は効率よく物事を進めるでしょうが、長い目で見て利益が出ないと判断するとさっと手を引くこともあり、そうなったころには民営化を進めた当事者は責任をとる立場にいないことが往々にしてありますので拙速な対応はやめてほしい。

2

基本方針 2、3について、今の学校の態勢のままこれが押し付けられるとますます物事が進まなくなると思います。2、3を実施すのならどうすれば無理なく可能なのか、今の学校は晩 9 時でも明かりがついていることが多い、本当に子どもと先生が向き合っていられる状態なのか、心配になることがあります。

基本方針 5についても上記、2、3と同じように今の体制では難しいように思います。実際に私の子どもが通う小学校でもやらなければいけないことをとにかくこなしているだけの先生が多いように思います。先生が一人一人の子どもと向き合って過ごす時間が限られているのだと思います。やることが多いのか、作業の見直しが必要なのか…

はじめに—21 世紀の当市発展のために—

昨年実施された全国学力テスト結果を見て驚くと共に教育委員会はじめ教育関係者は何をしているのかとの思いにかられました。

本市の人口は、市広報によると毎月漸減し、ついに 20 万人を割ました。その原因はいくつかあるでしょうが、当市の教育力の低さが若い子育て世代から敬遠されていることもあります。

教育関係者の責任は重い。是非とも岸和田発展と繁栄のため、教育 100 年を念頭に骨太の大綱を樹立されたい。

	<p>私は特に①教育関係者は「恥という言葉」を肝に銘じ、信賞必罰を明確にした組織を確立されたい。</p> <p>②市立産業高校は、すでに就職校から進学校に変わっている。時代のニーズに応え、普通科コースを設置し、校名も「市立岸和田高校」と変更して、難関大学に挑戦する学校にされたい。(参考・和歌山の「市和商」が「市和高」として頑張っている。)</p>
4	<p><u>〈基本方針 1 の①〉について</u></p> <p>・『公民を含めた教育・保育施設の再配置を推進』とあります、民間に頼るばかりではなく、市の責任で子育て支援として、公設での増設を求めます。</p> <p><u>〈基本方針 2 の①〉と〈基本方針 3 の③〉について</u></p> <p>・児童、生徒ひとりひとりにきめ細かな指導をおこなうには、少人数学級の推進が最短距離だと思います。叶えばいい目標が書かれていますが、現状ではこの方針を達成するための方法がまったく見えません。保護者の目から見ても 1 学級の人数が多すぎる。子どもひとりひとりがきめ細かい指導を受けられる環境は、保護者の願いです。『少人数学級の推進』を表記すべきだと思います。</p> <p><u>〈基本方針 6 の①〉について</u></p> <p>・『全ての教育の原点である家庭』という表記は家庭に責任を押し付けているような印象を受けます。削除してほしい。</p> <p>もし、『すべての教育の原点である家庭の教育力向上』と表記するのであれば、教育費の無償化など、具体的な支援をはっきりと記載すべき。子どもの教育は家庭だけでなく社会全体で行うものです。</p> <p>教育大綱の策定が行われているにもかかわらず、子ども達の環境がよくなっているようには感じられません。この方針の現場の声や保護者の声、子ども達の声は反映されているのでしょうか。疑問に思います。</p>
5	<p>私は、過去に天神山小学校や葛城中学校の PTA 役員をしたこと也有って学校教育には、深い関心をもっています。今回パブリックコメントを書く機会をえましたので私の思う所をのべさせてもらいます。次の 3 点です。</p> <p>○基本方針 2 の①について</p> <p>「基礎的・基本的な学力の定着」については大賛成です。しかし、そのための具体策はどうお考えなのでしょうか。クラスの定員を減らし、子どもたちの教育環境を良くする必要があると思います。具体的には、35 人学級の促進をはかる事だと思いますが、具体的な施策がつかれていません。</p> <p>○基本方針 3 の⑤について</p> <p>国際性を育む教育について、私は以前、和歌山大学岸和田サテライト（浪切ホール）で行われた教育学部教授の講演を聞き、うなづきました。内容は「小学校からの英語教育は、母国語（日本語）も定着していない中では、英語ぎらいを増やすことになり「国際性」につながらない」という内容でした。岸和田の生徒たちを英語ぎらいからすくうやり方を研究して下さい。</p> <p>○基本方針 4 の①について</p> <p>学校給食は自校調理方式が一番です。センター方式ではあたたかい給食になりません。この点よく考えてください。</p>

6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育を民間委託するかのように思われる文言があることが気になります。どんどん保育所も他市では民間委託をしていく中、「子育てしやすいまち」を目標にしている岸和田市は、以前の教育大綱（第1期）で策定したとおり、引き続き公立の配置の推進をお願いしたいです。</li> <li>・教育現場（教員）の軽減策に必要なことは人員の増加、それも講師ではなく、正職員をきっちり増員し、子ども達にゆとりをもって寄りそつてもらいたいです。</li> <li>・将来を担う子供達の教育・未来のために、市の予算を何よりも優先してもらいたいです。（給食 配置、教員 増員、公立保育所 設置、予防接種 補助、預り保育・特別支援学級の教員の増員及び給与アップなど）</li> <li>・市民のニーズのために、「大綱案を広報に掲載するなど」「三ヶ月ぐらいの期間をとつて公募するなど」検討して下さい。</li> </ul>
7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本方針1 ①幼児教育は岸和田市が責任を持って推進してほしい。</li> <li>・基本方針5 <ul style="list-style-type: none"> <li>③小規模というだけで統廃合しないで欲しい。学校は、その地域のかなめなので色々方策を考えて欲しい。</li> <li>⑥教員の業務負担のためには、教員を大幅に増やして欲しい。</li> </ul> </li> <li>・基本方針7 ①生涯学習活動や公民館活動に市としてもっと援助金を増やして欲しい。</li> </ul> <p><b>教育の現状と課題</b> 問題解決学習や「主体的・対話的で深い学び」にするためには、1学級人数を20人ぐらいに減らすべきだと思う。</p>
8	<p>子どもたちのよりよい成長のために是非以下のことをお願いしたいと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・30人学級へ近づくために、市としての努力をして下さい。 子どもたちへのきめ細かい指導のため、25人～30人学級が必要です。日本人の自己表現の力をつけるためにも25人～30人学級を！</li> <li>・教育施策をするにあたって現場の教員の意見を聞いて下さい。現場の日々子どもたちと向き合っている教員の方々の意見が一番聞くべき声です。</li> <li>・子どもの成長を一時の学力テストだけではかるようなことはしないようお願いします。 大阪市が学力テストの結果で校長の査定（給料）をすると決めましたが、子どもの可能性、子どもの本当の学力は学力テストだけではかられるものではありません。大阪市のようなことをして教員をおいこみ、はては子どもを追いこむようなことは絶対しないで下さい。</li> <li>・小規模校をうかつに統廃合しないで下さい。いろいろ方策をして下さい。地域の発展や子どもの登下校の安全なども考慮して下さい。</li> </ul>
9	<p><b>基本方針1について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 小学校には隣接する市立幼稚園から多くの子どもが入学します。入学時には「知っている子どもがいる」「保護者同士が知っている人が多い」「小学校の近くにあるから親近感があり、入学後の子どもの負担が少ない」など利点が多いです。もし、幼稚園と保育園が統合して今の場所から移転したりすると、今のいい状態が継続できなくなります。</li> <li>入学時に少しでも混乱なく入学することを大事に考えるのであれば、今の立地場所を変更せず、市立幼稚園が小学校ごとにあることを続けてほしいです。</li> <li>* 1クラスの人数が多くなれば、行き届いた保育はできないと思っています。幼児教育の質を高めるのであれば、定員を少なくすることが一番だと思います。</li> <li>* 小学校との連携による交流は大切なことです。しかし、今の小学校の教育現場では、「いいこと」と言われて、年々学校外との行事が増えています。やることが多く、授業時数との関係で十分話し合いがされないまま、ただ例年通りの交流を繰り返しているだけで精一杯です。「本当に必要な連携とは何か」「小学校（教職員）だけにしわ寄せがいっていないか」など、今の教育現場の実情を考慮して、提案をしてほしいと思います。</li> <li>* 幼児教育の質を高めるためには、何よりも「保護者の意識向上」が欠かせません。幼稚園・保育園で過ごしやすい体調を保つために、家庭環境があるかということです。就寝時間・朝食摂取・親子のコミュニケーションの取り方など。小学校では養護教諭や栄養教諭などの「健康・食の専門家」がいます。しかし、幼稚園にはいません。幼児教育</li> </ul>

の時期にこそ、保護者に「健康」や「生活環境」の大切さを発信できる「専門家」が必要です。

#### 基本方針 2

\* 学力定着、きめ細やかな指導は、少人数学級（35人以下学級）の実現が必須です。学力テストの上位を占める都道府県は少人数学級になっている場合がほとんどです。ひとり一人に目をかけられます。また、保護者の所得の差が子ども達の学力に影響することも言われています。所得について学校で取り組むことはできません。学校でできることと言えば、少人数学級を作り、ひとり一人に手厚い学習を授業時間内に行うことで、子どもがわかる授業をすることだと思います。そのための教育条件整備をやっていただきたいと思います。

\* 特別支援教育を充実するために、年々支援学級を利用する子どもが増えています。在籍した子どもは、ゆっくりしたペースで学習ができ、わからないところを手厚く教えてもらい、充実して、学校生活を送るようになり、支援学級入級以前と比べ、落ち着いた、笑顔が増えた毎日を送っています。しかし一方、現学級とのダブルカウントをしないため、現学級は40人越えのクラスが増え、学級数が減っている現状が起こっています。支援学級対象者でない子どもたちが、40人越えのクラスで、大勢の中の一人的な状況で授業を受けています。当然クラスの中でも学力差があり、支援学級ギリギリ入級できない子どもが、手厚い授業を受けることができず、困っているのが現状です。ダブルカウントをしていただければ、少人数学級が実現し、支援学級に入級の有無にかかわらず、どの子も手厚く授業を受けられることが実現します。

\* 最近、小中で統一した決まりを求められることが多くなってきました。例えば、チャイムと同時に着席などです。授業をチャイムと同時に行えるためだそうですが、子どもの自由な休憩時間、ホッとできる時間の保証はどうなっているのかと疑問ばかりです。小中で何かそろえるとなると、「子どもが守る決まり」ばかりが増えます。これを続けていると、子どもの不満がたまるばかりで、落ち着いた学校でなくなります。当然ながら子どもは発達段階に応じた教育が必要です。子どもの事を一番に考えた小中の連携ができているかチェックしてほしいと思います。

#### 基本方針 3

\* 道徳教育はノートに縛られています。ただ読んで、書くだけ。ノルマをこなすために教師も子どもも必死です。この学びの中で「道徳的考え方」が芽生え、日常に応用できるとはどうしても思えません。豊かな人間性や社会性を身に着けるためには、日常で起きた出来事を取り上げるのが一番です。生きた教材になります。自分事として考えることができるからです。「道徳」が普段の出来事を取り上げた題材に読み替えることができる幅を示してもらえると、充実した教育になると思います。

\* 子どもと信頼関係を作り上げるためには、教職員が子どもと一緒に遊んだり、ゆっくり話を聞く時間が必要です。しかし、年々このような時間は奪われて、捻出できません。無理に作ろうとすると、教職員自身が自分の仕事を後回しにすることになり、勤務時間が長時間になったり、持ち帰り仕事や休日出勤が増えるのが現状です。

#### 基本方針 4

\* 健康管理の充実には、「知る」ことが大事です。そのためには、子どもに対し健康教育が必須です。しかし、授業時数の確保を中心に据え、授業以外の学校行事の見直しを検討する時に、真っ先にターゲットになり削られるのが現状です。これほど多方面にわたり、「連携」「交流」がえてくると、どれもこれもすべてできることは不可能です。もっと、本当に大切にできることを学校独自で考えられるような「ゆとり」を示唆してほしいと思います。

#### 基本方針 5

\* 学校園の適正規模、配置は全体の人数で決まるものではないと思います。全校100人以下の学校は、1クラスの人数が少ないので、手厚い学習ができます。200人ぐらいの学校でも、1クラスが40人近い場合は、教職員の目が一人一人に行き届きません。大事なのは、学校全体の人数でなく、1クラスが少人数で学習できる人数なのかということです。

\* 教員の指導力の向上は、どれだけ自主的に知識を吸収しようと考えているかにかかっ

	<p>ています。そのためには、研修できる機会を保障してほしいと思います。学校がある時には、子ども達を放っておいて研修に行くのは、気がかりでなりません。長期休業中が気持ちにゆとりをもって、積極的に研修できます。ただ、最近は、学校内外の出張が長期休業中に入ることが多くなり、また来年度からは夏季休業の短縮もあり、だんだん、自主的な研修の機会を取りにくくなっています。</p> <p>教育大綱のひとつひとつをみると、すばらしいことが書かれています。ですが、学校ができる時間や範囲は限りがあります。すべてすることは絶対に無理です。教職員は「はじめ」なので、できるだけやろうとします。その一方、多くなるのは自身の勤務時間、削られるのは睡眠、自分の家族との時間です。いい事だからやろうでなく、「すべてのものはつながっている」ので、本当に必要なことは何かを見定めて、大綱を作成していただきたいと思います。教職員に「ゆとり」がなければ、いい教育はできません。1クラスの人数が多ければ、子ども達が「自分の事を見てくれている」安心感を感じられません。この2つを中心に据えて、岸和田市の教育大綱を進めてほしいと切に願います。</p>
10	<p>基本方針1の①幼児教育の質の向上及び幼児教育・保育のあり方の検討で、公民を含めた教育・保育施設の再配置を推進します。とありますが、就学前の子どもと保護者にとって欠かせない市立幼稚園・公立保育所は、できる限り残すべきだと考えます。再配置より小学校に併設した市立幼稚園の長所を生かし、幼稚園と小学校のさらなる連携を進めてほしいと願います。</p> <p>基本方針2の③特別支援教育の充実で、適切な指導や切れ目のない支援とありますが、それを実現させるために、特別支援教育にあたる教員の加配や支援員などの増員を願いたいと思います。また、市民病院にある院内学級は今まで通り継続していってほしいと思います。</p> <p>基本方針6の⑥教員の業務負担軽減で、教員の業務負担の軽減策について検討とありますが、まずは教員の業務実態を把握して、ぜひ軽減してほしいです。教育委員会のバックアップがあれば、長期休業中や夜間に留守番電話を活用するなどいろいろ業務負担軽減が図れると思います。</p>
11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て世代にとって保育の問題は大切です。 就学前の保育を市で責任を持って行って欲しいです。 民間だと、先日も保育士の数を少なくしたり、食事をきちんと準備せずに補助金を受け取っていたり、子どもの命に関わる事件もありました。特別な事件だとしないで、1件でもこんな事があると大へんです。又、もうけがなくなったりすると手を引いてしまう等、いろいろな問題もおこる心配があります。子育てにお金をかける事は将来の岸和田の発展につながると思います。</li> <li>・クラスの定員を30人、せめて35人にしてほしい。市独自でも、いろいろな事を背おって子ども達は登校してきます。ひとりひとりの子どもに接し、又、学力向上をめざすにも40人は、人の力を超えていると思います。いじめの問題も少しは軽減されると思います。</li> <li>・学校は地域にあってこそ、その地全体で子どもを育てられます。小規模でも、つぶさないでほしい。</li> <li>・他市では、子育て世代がふえ、施設を作るにも土地もなく・・・というのを聞きました。簡単に市の施設を整理し、売ったりしないでほしい</li> </ul> <p>かつて、岸和田は0才児保育を先がけてやったと聞いています。安心して、住める、子育てできる地にしてください</p> <p>(質問) 基本方針1 再配置とは?</p>

	<p><b>基本方針 1について</b></p> <p>現行の教育大綱では「(1) 幼稚園教育の機会の拡大 入園を希望する3歳児から5歳児を受け入れるため、公立幼稚園の体制や施設などを整備します」となっているところが「(1) 幼児教育の質の向上及び幼児教育・保育のあり方の検討 幼児教育の質の向上を図るとともに、0歳から5歳までの就学前の子どもに対する幼児教育・保育のあり方について一体的に検討を進めるとともに、公民を含めた教育・保育施設の再配置を推進します」となったことに驚いています。それは、岸和田市教育委員会「平成30年度（平成29年度施策・事業対象）点検・評価シート（案）」に「…3歳児保育のニーズは依然として高く、公立幼稚園における3歳児保育の実施は子育て支援策に寄与するものと考える」などとしていたからです。突然の方針変更のように見え、その変更が何による物かがわかりません。</p> <p>私自身は、保育所・幼稚園はそれぞれに役割があり、また公立・市立だからできることがたくさんあると考えています。これまで岸和田で取り組んできた公立保育所・市立幼稚園の保育・教育を継続・発展させる方向での施策を望みます。</p>
12	<p><b>基本方針 2・3・5について</b></p> <p>「いじめの防止と解決」、「学校給食、食育の充実」、「子どもたちの安全確保」「安心・安全で快適な学校園」などが示されていますが、具体的なイメージがつかめません。「教員の業務負担軽減」も同様です。</p> <p>これらをしっかりと進めようとするのであれば必ず必要になる「教職員の増員」「少人数学級の実施」については明記してほしいと思います。</p> <p>最後に、「意見公募（パブリックコメント募集）」の方法を、もう少しわかりやすくしてほしいと思いました。広報を見て興味を持ち、窓口に行っても教育大綱の案は見せてもらえるだけ（コピーは有償）。ネットで検索してもなかなかたどり着けませんでした。検索してたまたまたどり着いた別の部署のページでは、過去には一件も意見がよせられなかったパブリックコメントがあったことも知りました。あらためて意見公募提出用紙を見ると、提出先が書いてありません。</p> <p>そこで、そもそも意見公募に関わって、以下の通り要望します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 意見公募・パブリックコメントの募集期間中は、市のホームページのトップページに関連ページへリンクするバナーを貼るなど、アクセスしやすくして下さい。</li> <li>○ 「意見公募提出用紙」に送り先（郵送先・FAX番号・役所内の提出先）を明示して下さい。</li> <li>○ 意見の提出先を企画調整部企画課だけでなく、素案と意見公募提出用紙を備え付けている8か所（2つの課、1支所、5サービスセンター）に広げて下さい。</li> </ul>
13	<p>基本方針5における教員の業務負担軽減については、大いに賛成です。</p> <p>そのために是非、1学級の児童数の基準を緩和して頂くとともに、支援学級児童も1人として児童数に入れて頂きたいと思います。</p> <p>そうすることで、40人を超える学級がなくなり、児童数も少なくなれば、教員の事務処理時間も減り、授業中の児童への配慮もより行き届いたものになると思います。どうぞよろしくお願ひ致します。</p>
14	<p>大綱の具体的な内容は分からぬことが多いですが、孫たちが、豊かにすくすく育つよう願って、気になる事を書きます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幼稚園や保育園の再配置とありますが、親の経済的負担も少なく安心して預けることのできる公立園をなくさないで欲しいと思います。</li> <li>・ 子どもの学力の向上は本当に大切な事ですが、学力テストなどの点数だけで、子どもたちや先生や学校を評価することはしないで下さい。人として豊かに育つよう力を注いでもらえる学校であるようにして下さい。</li> <li>・ 教員の業務負担軽減はとても必要な事と思います。そして、そのためのひとつは、少人数学級の実現だと思います。どの子にも目が行き届き、ていねいな対応が出来るようにはすることは、学力の向上、いじめ問題解決にもつながると思います。</li> <li>・ 家庭教育への支援とは、どんな事を指しているのか分かりませんが、困っている子ど</li> </ul>

	もや親を受けとめ、支援できるような体制を市としても、よりしっかりさせる方向で整えていただきたいと思います。
15	岸和田の教育の具体的な提案を期待していましたが、何ら見えていなく、それより不安を感じる事の方が多く見えました。例えば、公共を含めた教育の点や小中一貫校の点で、不安な箇所です。 もっと具体的な方針を出して下さい。意見が出しにくいです。

※意見者の氏名・住所記載不備分については、含まれておりません。